

Q 地域の中心となる公民館で、指定管理者制度“の導入を進められませんか。

A 市におきましては、多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理について民間事業者、NPO、地域の団体等が有するノウハウを活用し、住民サービスの向上と施設の維持管理費用の節減等を図ることを目的として、平成18年4月からの指定管理者制度の導入を計画しています。基本的には、現在管理委託をしている施設(約50施設)については、全指定管理者制度を導入する見込みです。同時に、公民館など市直営の施設であっても、指定管理者制度を導入することにより、より質の高い住民サービスの提供が可能で、施設の維持管理費用の軽減が見込める施設については、本制度を導入していきたいと考えています。

市内には市直営公民館が20館あり、運営形態、活動内容、地域で果たす役割や住民のみなさんとの関わりなど住民サービスの提供がそれぞれの館で異なっています。現在、市内各公民館の現状を把握し、指定管理者制度の導入効果について調査しているところです。この結果を踏まえ、指定管理者制度の導入について検討を重ねていきたいと考えています。

市長への手紙

～皆さんからお寄せいただいた声～

Q 全国的に小児肥満や糖尿病予備軍がたくさんおられます。市内でも同じような状況ではないでしょうか。学校給食はパン食が半分でそれに伴いおかずも洋風なものが多いです。全食をごはん給食にし、副食も和食メインに出来ないでしょうか。

(女性・31歳)

A 子どもたちの間に動物性脂肪・塩分・糖分の取りすぎによる食生活から生活習慣病の低年齢化が進んでおり、さらには今の生活を続けることによって将来うつした病気にかかる可能性がある子どもが多くいると言われています。また、食事だけでなく、運動不足、ストレスなどその原因とも言われています。本市の学校給食は、「心と体の健康」を育む教育の「環」として実施しています。そのため、「安心・安全でおいしい給食」「いろいろな食品を組み合わせ、魅力ある給食」「日本の食文化の継承と地場産物を使用した給食」を基本として「おなかすっきり、さわやか笑顔」を職員の合言葉に、子どもの笑顔を励みとして日々給食づくりをしています。米飯の回数ですが現在1週間のうちパン給食2回、米飯給食3回としております。このことは、献立の多様化と食品の種類を多く使用し栄養のバランスの取れた食事とするため現行が適当と考えています。また、子どもたちは洋食を好む傾向がみられますが、野菜を多く使用する献立と併用することにより、余分な油の吸収や脂肪の変化を抑える工夫をしております。

【問い合わせ】 秘書広報課 広報聴係

☎ 65-0675
FAX 63-4619

甲賀市農業委員会委員が 決まりました

このほど市の農業委員会委員37名が決定しました。今後3年間市内の農業振興のためにご活躍いただきます。

(敬称略)

田中 健晴	辻林ひさ子
小川 和子	福山 和育
小嶋 仁郎	徳田 康雄
西田 貞夫	堂山 勸
服部 長作	中山孝三郎
山崎善太郎	西澤 善彦
清水 平男	鶴飼 忠治
宿谷 祥蔵	北岡 義造
立岡 徳藏	松井 順彦
田畑啓之助	谷川 悦男
和田 壽利	里嶋 璋
吉川 良昭	山下 邦男
廣岡 善一	大原 敏馬
北相模貞夫	望月 正之
土屋 榮一	田中 庄吾
宿谷 正典	森田 和親
杉本 勇	中井 峯男
北田 耕平	山本 武
寺田 勝典	

【問い合わせ】 農業委員会事務局

☎ 65-0718
FAX 63-4592